

9 九鬼産業株式会社（三重県大紀町、四日市市ほか）

産地の概要



品 目

カノコソウ

栽培面積

計53a（カノコソウ53a）

栽培戸数

11戸

（令和6年10月時点）

取組体制

九鬼産業(株)（以下、九鬼産業）・九鬼ファーム（種苗の供給、栽培技術指導（自らも栽培）、生薬メーカー等への原料販売）
いなべ市、多気町、度会町ほか（試験栽培の実施、調製・出荷）
(株)三十三総研（以下、三十三総研）（実需者や自治体等へ働きかけ、関係機関との調整、栽培勉強会の開催、ブドウサンショウ等他の薬用作物への展開）

特 徴

三十三総研が関係機関へ働きかけを行うことで産地化を推進

取組の背景

平成25年から、三十三総研が、県の「薬用作物供給体制の構築」等の受託事業に取り組み、薬用作物の産業化を目指し、国産薬用作物の需要に関するアンケート調査や試験栽培によるノウハウの蓄積等に取り組んだ。基盤産業として栽培から医薬品開発までを県内で完結させたビジネスモデルの確立を図るため、三十三総研は九鬼産業に相談。これを機に、九鬼産業は新規ビジネスとして薬用植物栽培及び医薬品製造業への進出を決定。平成27年から大紀町において、カノコソウの試験栽培を開始。平成30年に医薬品製造許可を取得し、カノコソウを活用した医薬品と医薬品原料の製造に取り組んでいる。

三十三総研が、平成29年にいなべ市、令和3年より多気町から「薬用植物栽培技術確立業務」を受託したことを機に、県内の農業者が栽培に取り組み、九鬼産業が生産指導を行うとともに安定的な価格で買い取ることで、県内での産地化を推進し原料生薬として実需者へ販売している。

品目選定理由

- ・鳥獣害被害が少なく、実需者が国内調達を望んでおり、需要が底堅く収益向上が図られる見込みがある。
- ・いなべ市では薬用作物5種類の試験栽培を行い、産地化の可能性のある作物としてカノコソウを選定。

課 題

- ・株分けによる種苗の草勢低下や夏の高温による植物体への影響による単収の減少
- ・摘蕾や除草、手作業による収穫や土落とし作業、洗浄、乾燥などに多くの労力・時間が必要
- ・収穫・洗浄・乾燥等の調製作業の機械化・効率化による作業負荷の軽減

主な取組内容

①種苗

- ・九鬼産業が自社ほ場から配布。次年度以降は収穫した根の一部を株分けし定植

②栽培管理

- ・県内で勉強会を開催（令和4年～年1回）
- ・生産農家へはマニュアルと動画(三十三総研制作)により、栽培方法をわかりやすく解説
- ・夏の暑さ対策として寒冷紗の設置を推進中

③加工・調製

- ・ほ場で使用可能な軽量の株割機を試作し、加工調製の軽労化に尽力
- ・いなべ市では、試験的に洗浄過程で「小型コンクリートミキサー」、乾燥の過程で「乾燥機」を使用

④集出荷

- ・乾燥調製後、九鬼産業が安定的な価格で買い取り、原料生薬として加工



▲カノコソウ



▲三重県下の
カノコソウの栽培面積

成 果

【取組による定量的な成果】

薬用作物面積拡大 H28：6a → R6：53a

※九鬼産業含む県内のカノコソウの栽培面積

今後の展開

- ・収穫・洗浄・乾燥等の調製作業の軽労化を図るため、さらなる機械化と乾燥作業の共同化の検討
- ・取組自治体とカノコソウの産地を拡大するとともに、夏の高温に耐える種苗生産・栽培方法の検討